

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

**[研究課題名]** 日本における乳頭癌様核所見を伴う非浸潤性濾胞型腫瘍の診断的意義と疾患概念の妥当性に関する研究

**[研究責任者]** 病理診断科 伊東正博

**[研究の背景]**

非浸潤性被包化濾胞型乳頭癌と診断されていた症例は極めて予後良好な腫瘍であることから、noninvasive follicular thyroid neoplasm with papillary-like nuclear features: NIFTP として悪性から境界悪性に再分類された。この疾患概念は 2017 年に改訂された WHO 分類に取り入れられたが、本邦の取扱い規約では採用されていない。

この NIFTP は欧米では乳頭癌の 10~20%を占めると報告されている。一方、本邦では乳頭癌の 1%以下とその頻度に大きな差がある。その理由の一つに、軽微な乳頭癌の核所見を有する被包化濾胞型腫瘍は、欧米では乳頭癌、本邦では濾胞腺腫と診断されてきた違いが指摘されている。

**[研究の目的]**

本邦における NIFTP の現状を調査することと、その診断的意義および疾患概念の妥当性を議論することである。

**[研究の方法]**

●対象となる患者さん

甲状腺腫瘍(濾胞腺腫および非浸潤性被包型濾胞型乳頭癌)の患者さんで、西暦 2010 年 1 月 1 日から西暦 2014 年 12 月 31 日の間に外科治療を受けた方

●研究期間：西暦 2022 年 6 月 6 日から西暦 2022 年 9 月 30 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：HE 標本（診療または他の研究で使用した検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：手術日、経過観察期間、病理診断結果

●検体や情報の管理

HE ガラス標本は、検体を測定する機関である医療法人神甲会隈病院に配送で提出し、

測定されます。

情報は、研究代表者機関である医療法人神甲会隈病院にインターネットを介して提出され、集計、解析が行われます。

#### [研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：医療法人神甲会隈病院 病理診断科、廣川満良

●その他の共同研究機関：

伊藤病院・病理診断科

がん研究所・病理

埼玉県立がんセンター・病理診断科

福井大学医学部附属病院病理診断科・病理部

大阪警察病院・病理診断科

山梨大学・人体病理学

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

病理診断科、伊東正博

電話番号：0957（52）3121